



たばたあずみ

Tel・Fax 550-6674



山根とみえ

Tel・Fax 550-4224



戸沢ひろゆき

Tel・Fax 558-9721



厚生省への要請行動にて、たばた議員(左)と田村智子参議院議員

阿伎留病院議会 たばたあずみ議員の一般質問

阿伎留医療センターはあきる野・日の出・桧原の3自治体が合同で経営しているため、各自治体から選出された議員がその運営に携わっています。日本共産党あきる野市議団では、たばたあずみ議員が担当しています。年に3回開かれる阿伎留病院議会定例会での、たばた議員の一般質問の内容とその回答の概要をお知らせします。

給水機の設置をもとめて

患者の中には高齢者や子どもなど、水分補給を必要とする人が多くいます。また、患者の多さや医師の不足などさまざまな理由から待ち時間が長くなりがちです。たばた議員は、福生病院などには当然のものとして設置されている給水機を設置すべきと要求しました。病院は、施設内水道管の配置から冷水機はむずかしいが、タンク式のものなどを検討。衛生面や紙コップ等ごみの増加などが課題であるとし、水が必要な人は職員などに声をかけてくれれば提供すると答えました。

たばた議員は、給水機の設置は急いでほしいが、実現するまでは「水が必要な人は声をかけてください」との張り紙をするよう要求しました。現在、院内の掲示板などに掲示されています。



1階会計前にも。

入院中のこどもにプレイルームを

こどもの患者があかるく入院中を過ごせるようにと、プレイルームの設置を提案しました。病院は、こどもは感染症など短期の入院ばかりであること、他科との合同病棟であることなどを理由に設置の予定はないと答えました。

病院、特に入院病棟は、病気を治すだけでなく、患者の精神の安定も重視しなくてはなりません。たばた議員は、せめて室内を飾るなど、こどものための配慮をするよう要望しました。

産科・婦人科病棟の分離を

産科と婦人科は必ずしもおなじではありませんが、ひとまとめにされがちです。しかし、患者によっては同じ病棟に入院したり、隣り合って診察を待つことが苦痛になることもあります。病棟や外来の分離を求めて質問しました。病院は、分離の必要性は認められたものの、婦人科の入院患者が少ないことなどから、分娩入院者の個室利用を増やすことなどで対応していくと答えました。

たばた議員は、個室にしても音漏れは防ぎきれないため、病棟の分離は必要ですが、せめて分娩入院者が完全に個室を利用できるよう料金の工夫をしてほしいと要望しました。



利用の多い1日7,000円の個室

救急受け入れのため、医師の確保を

阿伎留病院は第2次救急病院のため、命にかかわる救急患者はほとんど受け入れていません。しかし、受け入れ要請時にその担当科の医師がいれば、受け入れが可能です。たばた議員は、医師の人数が増えれば救急の受け入れを増やすことができることから、民間並みに給与を引き上げるなど思いきった方法で医師の確保に当たるべきではないかと提案。病院は、命にかかわる救急患者も受け入れる第3次救急に実態を近づけていけるよう、医師の確保に全力をあげると答えました。

たばた議員は、医師の健康管理・労働条件にも配慮は必要ですが、可能な限り当直をおねがいするなど受け入れを増やす努力をするよう求めました。

その後、救急要請を可能な限り受け入れてほしいとの院長からのおねがいが医師をはじめとする職員に配布され、現在は受け入れを断った場合にはその理由を記録し、受け入れるべきではなかったか検討するなど、救急受け入れの努力がなされています。



阿伎留医療センター

3月議会の日程

- 2月15日(火) 請願・陳情締め切り
- 2月23日(水) 本会議 初日
- 3月 2日(水) 総務委員会
- 3日(木) 環境建設委員会
- 4日(金) 福祉文教委員会
- 8日(火) 一般質問
- 9日(水) 一般質問
- 10日(木) 一般質問
- 15日(火) 予算特別委員会
- 16日(水) 予算特別委員会
- 25日(金) 本会議最終日

法律相談
2月23日(水) 13:30~15:00